

お待ちかね「白聖ドキュメンタリー」の間でございませう。今日はDR支局の制作で「三年四組の素顔」をお送りします。……

ここは一高三階の三年四組教室である。では早速その面々を紹介することにしよう。

「今日の欠席は？」と聞いても「ハイ！」

と答えるトツプ泉沢。彼のフォームはすべて排球型。他人が決して笑わない時に一人で高笑いするのはラスト横沢。大坊君は某先生の催眠術に手もなくコロリ。隣人菊池(利)はヒヤヒヤのし通しか？(とところがどっこい共倒れでした)二戸出身の工藤君、柔和な顔は何故に？豪快なクシヤミ・シャツクリはミスター斎藤。花北と大熱戦を演じながら涙をのんだ福島・松橋・小笠原の夢の甲子園トリオ。三里塚の向こうをはって「席替え立ちのき命令」にガンとして応じないのは菊地由美、大矢、鎌田、福田の女闘士カルテット。しかし一月六日強制代執行令が発せられ、彼女達はやむなく分散していった。英文法発声史上に残る「Peru」[Argentina]「Brazil」の発声者はキックの笹山。素適な御名前佐藤香織さん。彼女の英語の発音のすばらしさに

は我が猛者共も骨抜き。梨を求めて九km我がクラス唯一のニケタランナー黒田。忍び笑いを全く知らない雫石。(そのため我我は表情を作るのに四苦八苦・詳しくは源氏物語「帚木」を参照の事。)神出鬼没のサボター

ジュ忍者は波紫、高槍のアンバランスコンビ。山深き雫石の月光依面(本物との共通点はバイクのみ)は盛岡では沢口と化す。住所に数字のないのは彼だけとか。卒業アルバム写真を早くとつてくるようにとせき立てるのは菊地匡子さん。彼女の引き立て役はまた見つからないのだろうか。先生のスキをみては「自習自習」と皆を扇動する藤島。最近「タチバナ」の姓に魅力を感じなくなったのは何も立花のせいではあるまい。籠球のロングシュートには絶対の自信をもつ山田。彼は待ち前の声の良さに加えて前述のどれかの影響か、ワンポイントすれた笑いが身についたようだ。こちらはハンドボールコート、シュートした、あつきーパーとった。さすが我がクラスの名ゴールキーパーその名は佐藤清明君。目を北方に転ずれば、トラック上には若獅子二人、佐藤保に村上一行。今日も世界記録をめざしてがんばる。そしてついに本年は百m世界記録に0.000七時間差に迫った

とか。生物教室で今日も蝶の研究に余念のないのは村上達。貴重な蝶をズブの素人からクズだと言って持って来てはコレクションしている、とは仲間の某君談。教室の右前すみで一人頑張るのはミス(たぶん)川村。昔は恐ろしかったそうなの？今は可愛い女の子？一〇月まで後ろの席にいた菊池洋子さん。席変えでまん中の一番前にすわった。まじめに勉強する気かな？そこは漫画が読めるんですよ。席がえに最後まで勉強に反対した山岸さん。行きついた先はやっぱり一番前。でも教卓がないから漫画は読めないよ。いつも静かで目立たないのは今野さん、日本女性の典型か。庭球で一気に上昇したのは近藤株。そして上昇するはずだった横沢株を買って(ベアを組んで)大損したのは徳山である。縦に伸びて横はこれから・二段構えの畑中君。ここでスポーツ万能の面々三人ばかり。授業でも活発なのは野中。渋民くんだから遠征して三年間、やっと終わりに近づいた竹田、井濃内の両君、ご苦労でした。……とまあ一気に並べたてたが、これほど逸材のそろったクラスはないだろう。担任の近江先生も全く苦労が(絶え)ないのは当然である。渋川・奥田著。